

令和7年度JRA畜産振興事業に関する調査研究発表会

畜産業を未来に繋ぐ高校生たちのための海外研修 ～ 畜産ティーン育成プロジェクト事業の取組み ～

畜産ティーン育成プロジェクト事業

公益社団法人国際農業者交流協会

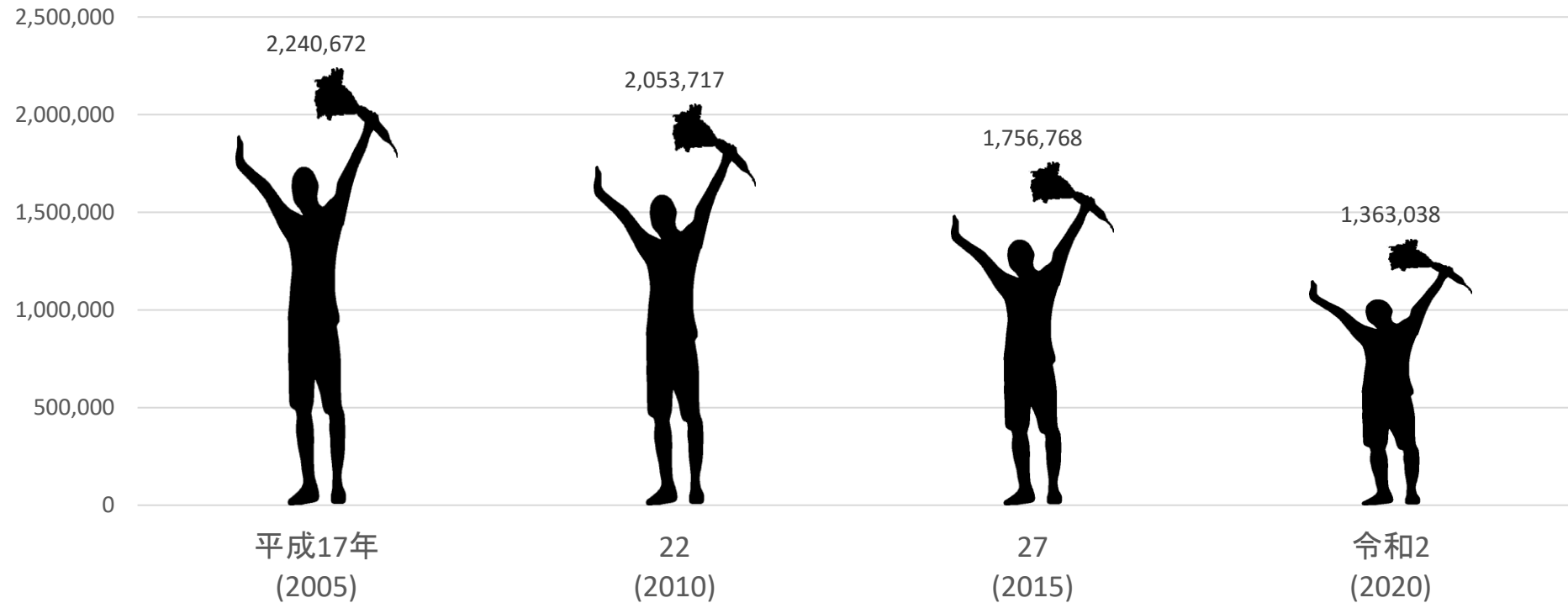
業務部 部長 皆戸顕彦

CHIKUSAN 育成 TEEN 成 PROJECT



我が国の課題：担い手の確保

基幹的農業従事者数



参照：農林水産省「農林業センサス」、「2010年世界農林業センサス」

畜産業のイメージアップ

事業目的



これまでの本事業

実績

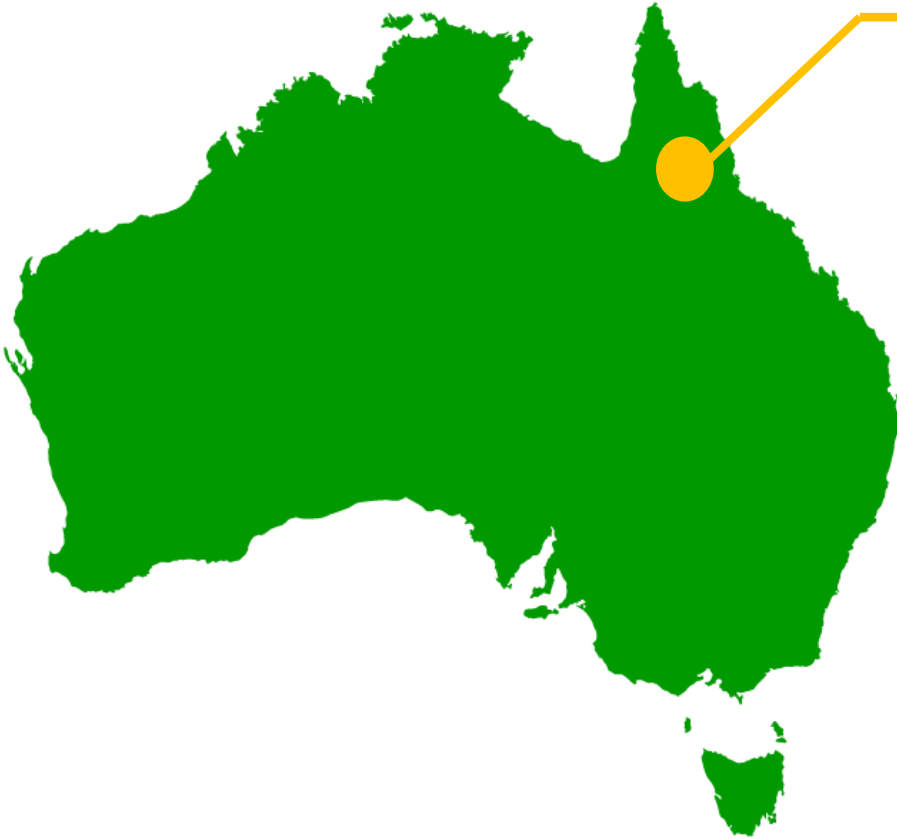
年度	事業	対象国	重点的家畜	参加者
2018	畜産女子育成プロジェクト事業	ニュージーランド	酪農・羊	20
2019	畜産女子育成プロジェクト事業	ニュージーランド	酪農・羊	20
2021	畜産女子育成プロジェクト事業(OL)	デンマーク	養豚・酪農	19
2022	畜産ティーン育成プロジェクト事業 (OL)	デンマーク	養豚・酪農	19
2023	畜産ティーン育成プロジェクト事業	オーストラリア	肉牛・酪農	20
2024	畜産ティーン育成プロジェクト事業	オーストラリア	肉牛・酪農	20
2025	畜産ティーン育成プロジェクト事業	オーストラリア	肉牛・酪農	21

オーストラリアでの学びのポイント

海外研修

- ◆土地利用型の大規模畜産
- ◆放牧での畜産経営
- ◆輸出産業としての畜産
- ◆日本とは異なる気候・地理条件
- ◆アニマルウェルフェア
- ◆衣食住の異なる文化

TABLELAND, Queensland (QLD)



クイーンズランド州北部の農業地帯。
豊富な水資源、年間を通じて温暖な気候のおかげで、サトウキビの生産地帯であるとともに、バナナ、アボカド、コーヒーなど果物栽培も盛ん。
畜産では、北クイーンズランドのドライランド肉牛を集める拠点ともなっている。

畜産ティーン育成プロジェクト事業のながれ

Applying

募集

- 募集(4月～5月)
 - 選抜(5月下旬)
- ※高校2、3年生が対象

Training Program

研修

- 事前研修(OL)
(6月16日～19日)
- 現地研修
(8月2日～12日)
- 研修成果報告会
(8月13日)

Ambassador Activities

啓蒙活動

- 畜産アンバサダー活動
- ・各学校で発表
- ・地域での活動
- ・研究会で発表

参加者21名 引率教員1名 メンター2名

事前研修(6月16日～19日)

zoom

Day 1

事業の概要説明、自己紹介

Day

2

日本の酪農

Day

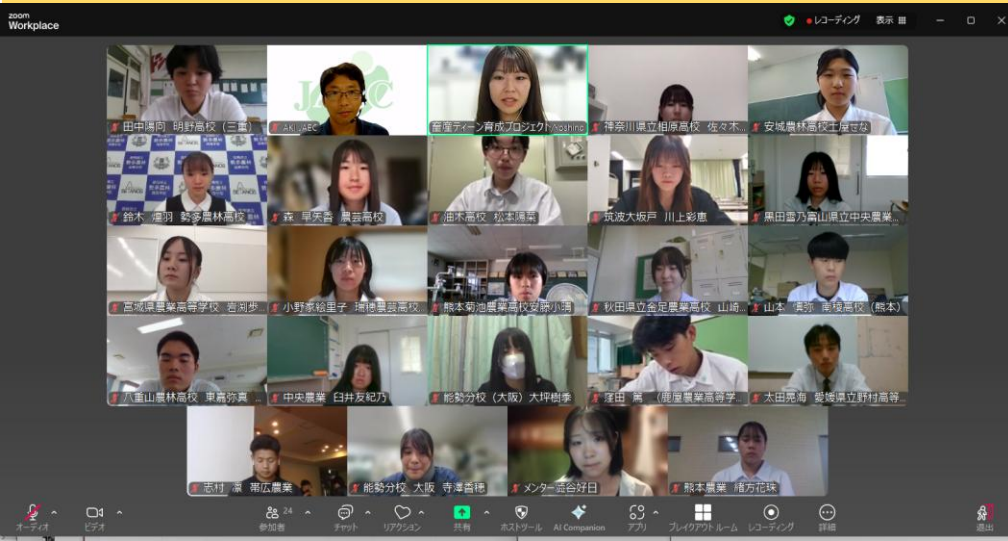
3

海外研修について
オーストラリア研修

Day

4

日本の肉牛



現地研修(8月2日～12日)

Day1



集合(成田空港)、自己紹介、旅程案合

2



英語発表準備、報告会準備、渡航

3



到着、肉屋、肉牛農家(中規模、テーブルランド)、乳業会社

4



牛の市場、有機酪農場(6次産業)

5



大規模肉牛農家(ドライエリア)

6



高校での畜産授業

7



高校での畜産授業、ホームステイ

8



ホームステイ

9



ホームステイ、修了式

10



帰国

11



報告会準備

帰国時研修成果報告会(8月13日)

4グループに分かれ、オーストラリアでの学びを踏まえてそれぞれのテーマについてプレゼンテーションしました。

- 国はどう畜産業を支えるべきか
- 畜産業のビジネスチャンスはどこにある
- 農業教育として畜産を確固たる農業にする
- 家畜の幸せを守ることが畜産の将来につながる

参加高校生の意識変化

R7年度意識調査

- 参加者がこの事業を通じてどのような変化が生じたか（影響を受けたか）調査するため、合計3回のアンケートを取ります。

1回目 6月 事業参加前の意識

2回目 8月 現地研修参加後

3回目 3月 畜産アンバサダー活動後

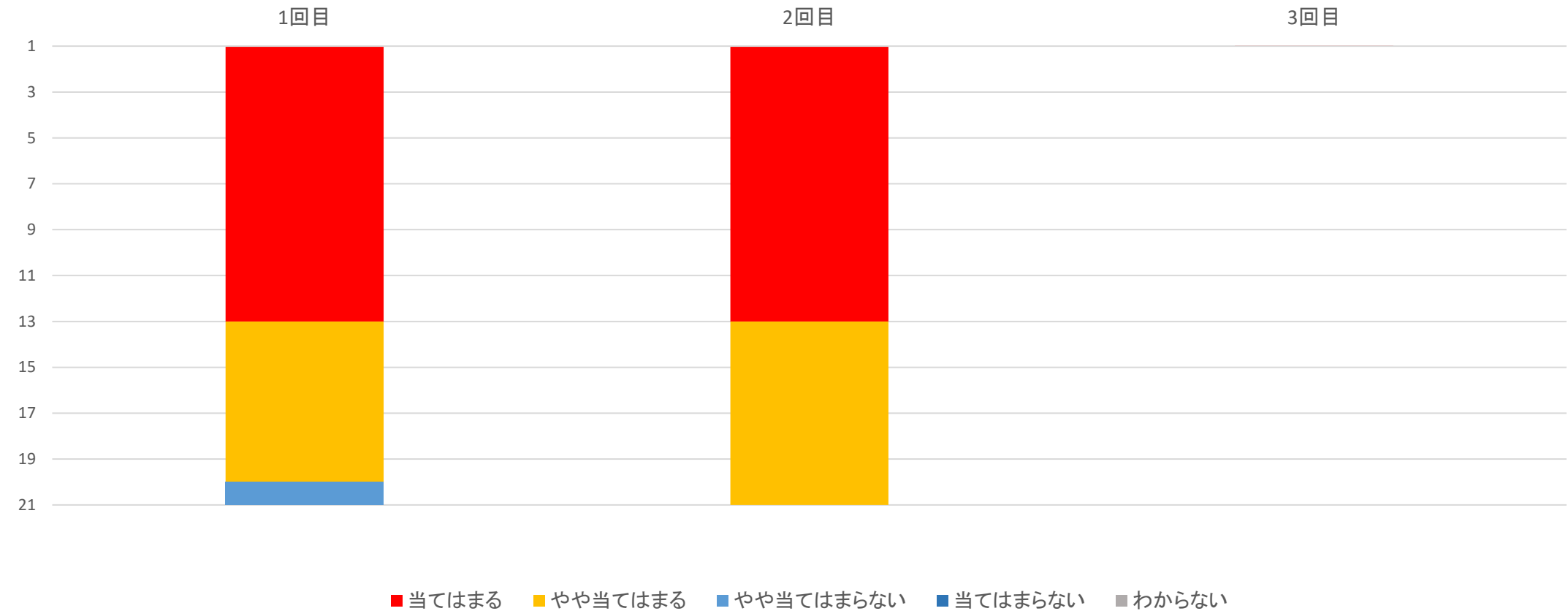
参加高校生の進路希望

R7年度意識調査

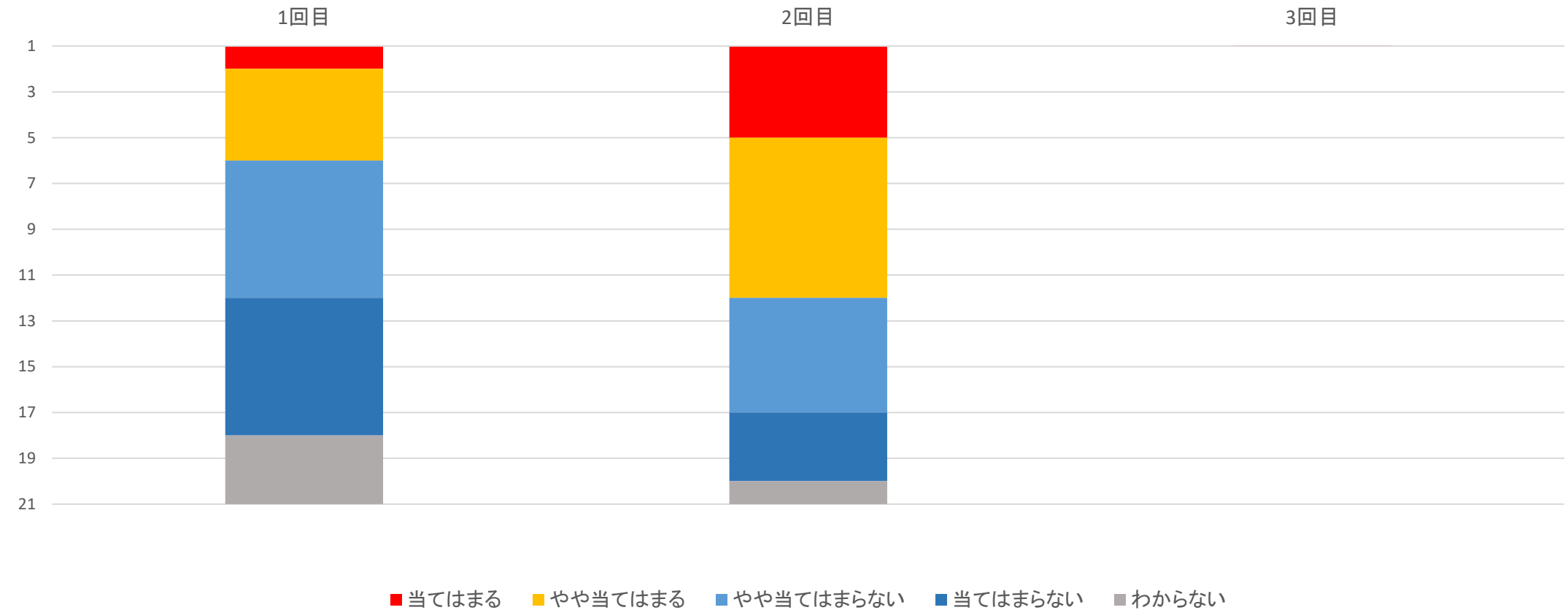
今考えている高校卒業後の進路は？



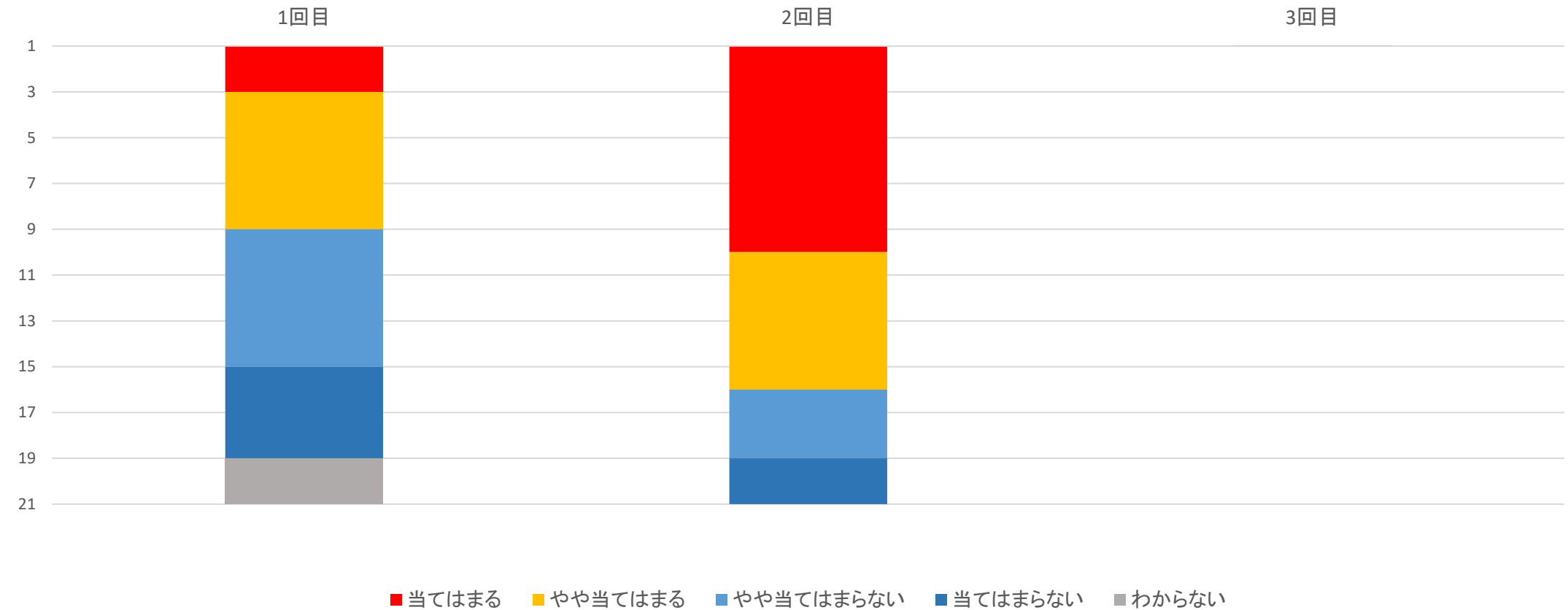
生産現場で働いてみたい



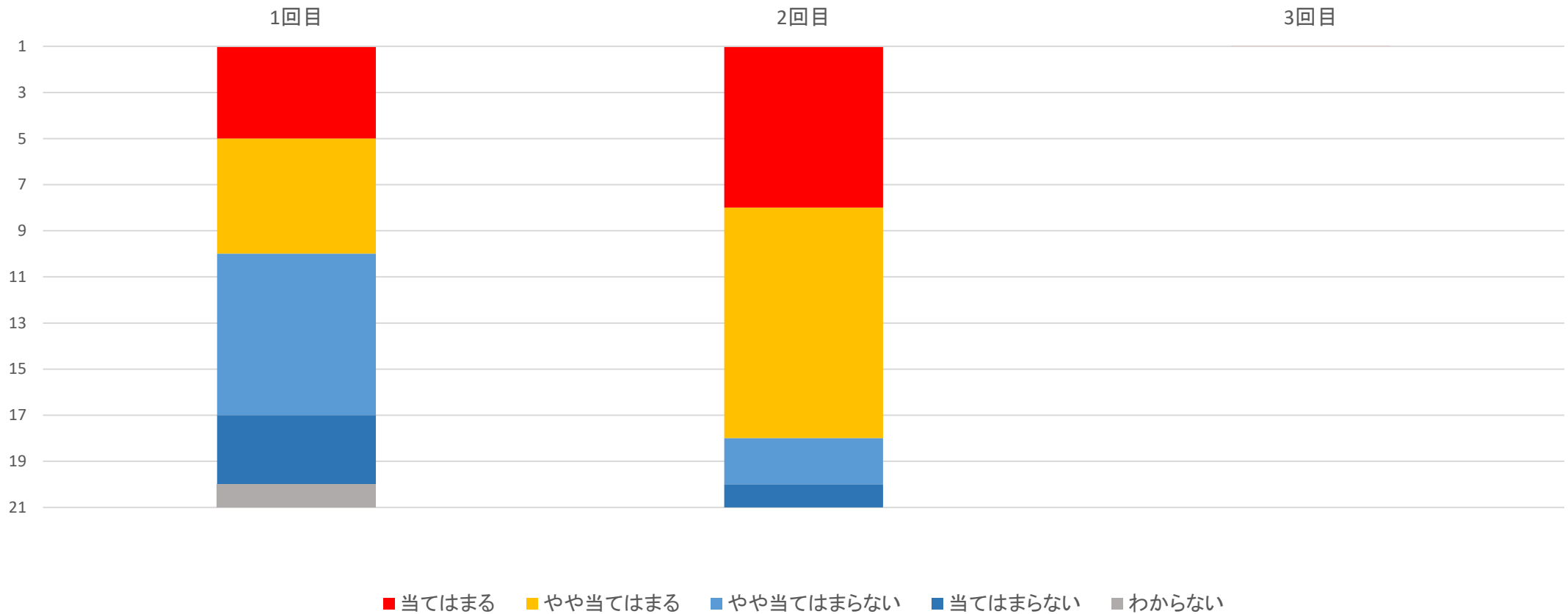
畜産業はもうかる仕事である



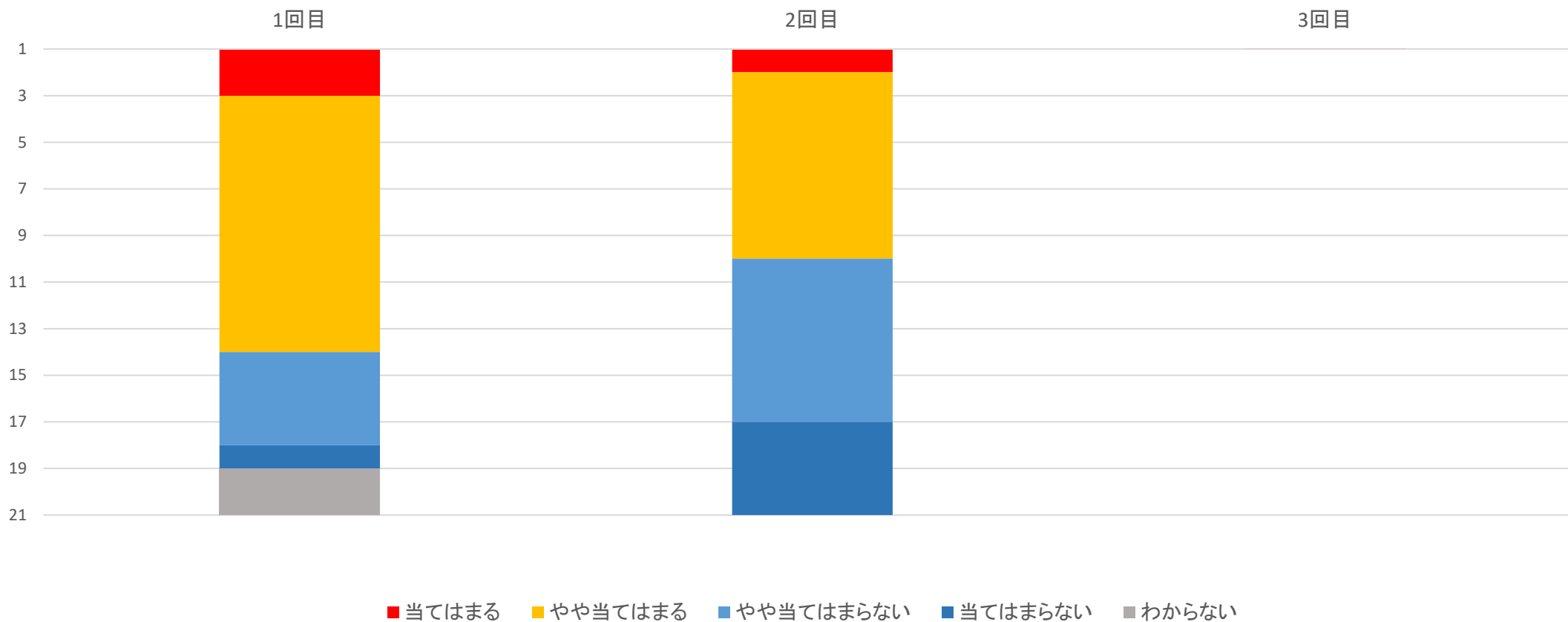
畜産経営に必要なことがイメージできる



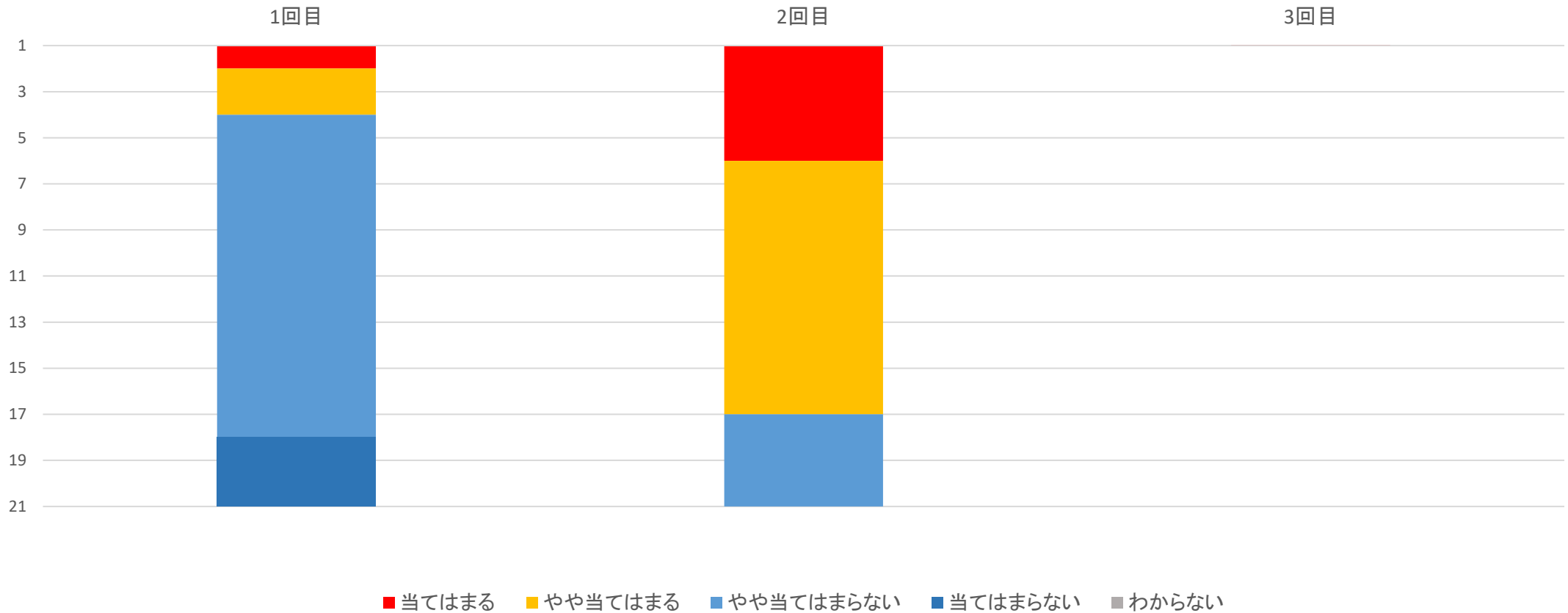
どうやってワークライフバランスをとるべきか考えがある



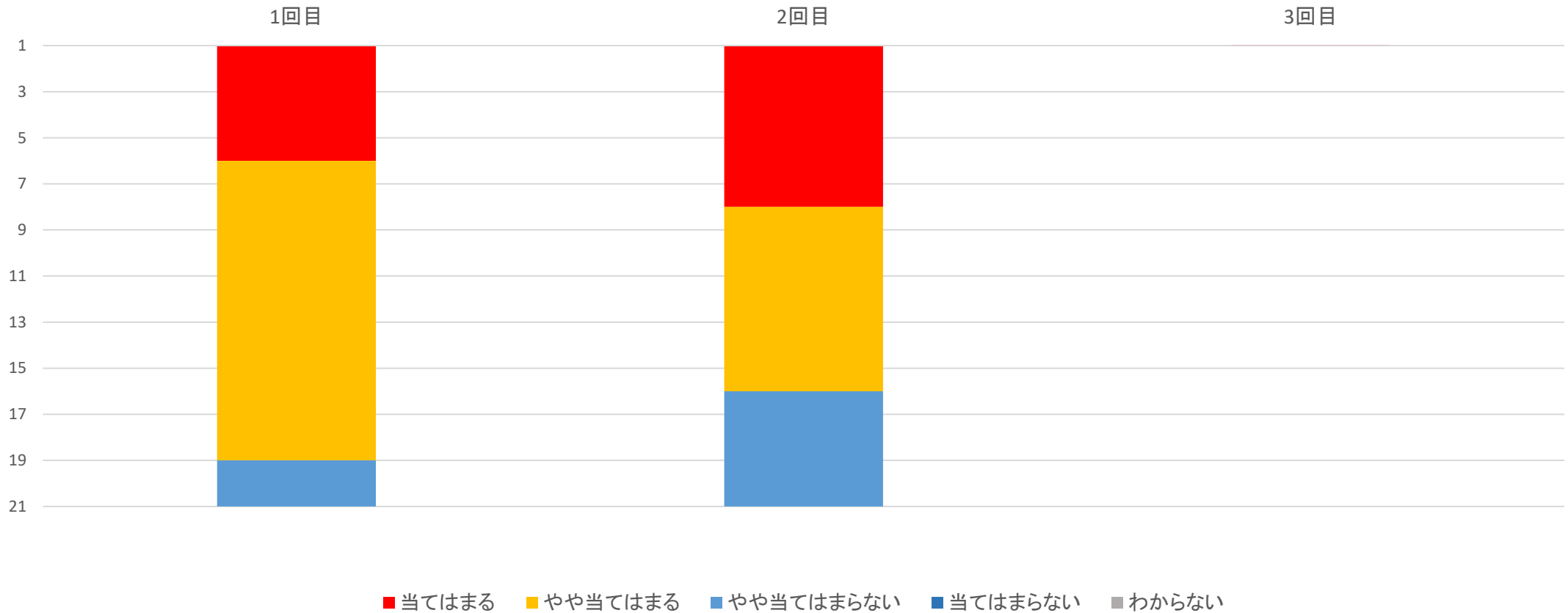
畜産業の技術的な知識が周りに比べて豊富だと思う



放牧酪農の知識がある

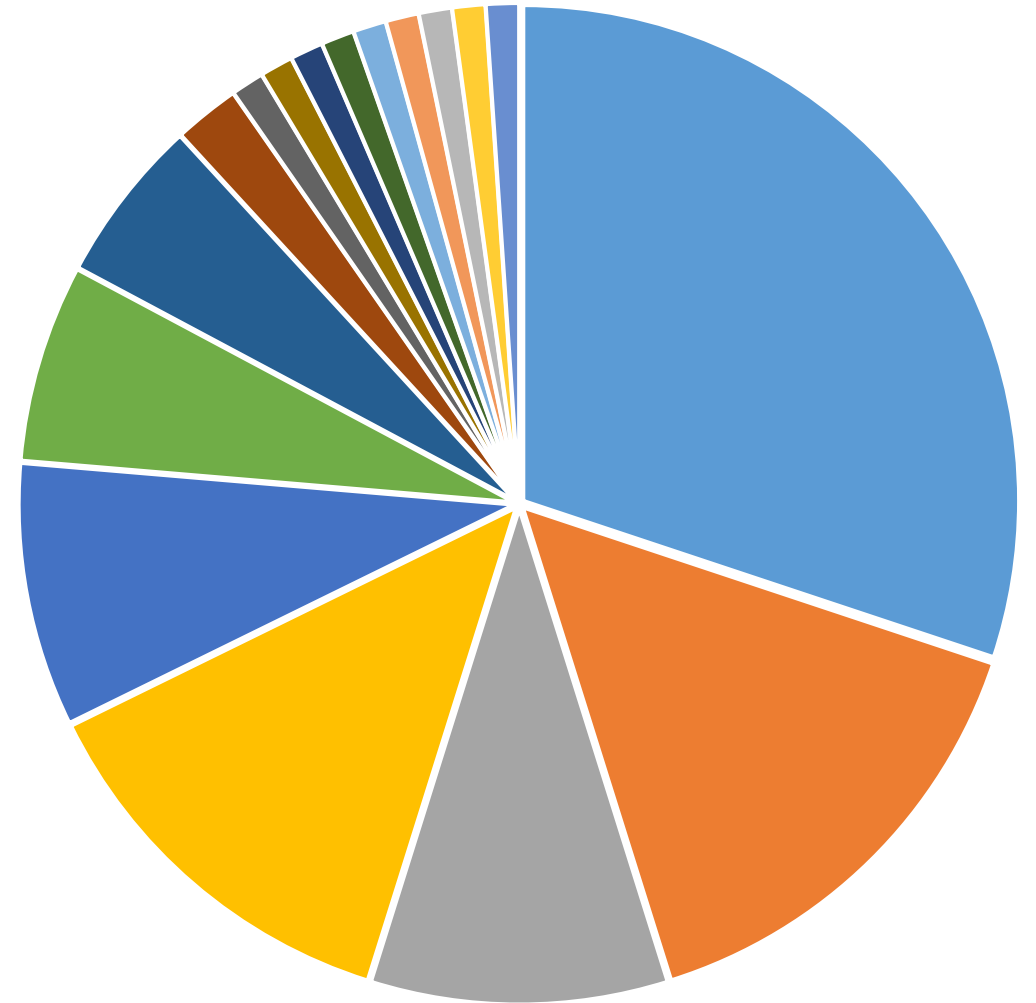


アニマルウェルフェアについて知識がある



現時点の職業	人数
大学生（農業系（農学部・生物資源科学部等）	28
会社員（農業系（雇用就農含む）	14
会社員（農業系以外）	9
農業大学校生（農業系の専門学校含む）	12
農業高校生	8
農家（畜産・その他）	6
大学生（農業系以外）	5
研修生（農業系・その他）	2
専門大学校（農業系以外）	1
農業高校教員	1
公務員	1
実習助手（農業）	1
専業主婦	1
JICA海外協力隊	1
留学準備	1
フリーター	1
留学（海外農業研修含む）	1

参加者の進路（2025年春） ※93名





若年層のインスパニアが重要